

(仮称) 地域 DX センター整備事業設計業務  
公募型プロポーザル審査結果報告書

令和4年4月

(仮称) 地域 DX センター整備事業設計者選定審査委員会

## 1 設計者の選定

最優秀者 エーシーエ設計・小口設計 共同企業体  
代表構成員 株式会社エーシーエ設計  
構成員 有限会社小口設計

次点者 株式会社山田建築設計室

二次審査対象者（五十音順）

株式会社第一設計  
宮本・嶋本設計共同企業体  
代表構成員 株式会社宮本忠長建築設計事務所  
構成員 嶋本耕三建築設計事務所

## 2 選定経過

### (1) 選定方法

公募型プロポーザル方式を採用し、一次審査及び二次審査の二段階審査方式で選定を行った。

専門的かつ公正な審査を行うため、学識経験者及び行政関係者により構成する「(仮称)地域DXセンター整備事業設計者選定審査委員会(以下、審査委員会という。)」を設置し、審査委員会による評価により設計者を選定した。

なお、選定は公正かつ厳正な審査とするため、審査委員には参加者名を開示せず、各参加者に参加者番号を付与して実施し、最優秀者及び次点者の選定後に参加者名を開示した。

### (2) 審査委員会

審査委員会は、次の4名の委員で構成した。

委員長	不破泰	信州大学 副学長
副委員長	米窪健一朗	塩尻市 副市長
委員	藤森茂樹	株式会社しおじり街元気カンパニー 社長
委員	古畑耕司	一般財団法人塩尻市振興公社 理事長

### (3) 開催状況等

日 時	内 容
令和4年2月28日(月)	実施要領等の公開
令和4年3月4日(金)	現場説明会
令和4年3月9日(水)	質問書提出期限
令和4年3月11日(金)	質問に対する回答期限
令和4年3月15日(火)	参加表明書の提出期限
令和4年3月17日(木)	参加資格結果通知
令和4年4月6日(水)	提案書等の提出期限
令和4年4月11日(月)	一次審査
令和4年4月13日(水)	二次審査

### (4) 応募状況

参加表明書提出者5者のうち、1者が辞退し、提案書等の提出は4者であった。

### (5) 審査結果及び講評

この度、(仮称)地域DXセンター整備事業設計業務公募型プロポーザルを実施したところ、4者からの提案を得ることができました。いずれも事業内容をよく理解された上での質の高い提案内容となっており、これらの参加者のご尽力に対して心よりの謝意と敬意を表するところであります。

一次審査では、審査委員が4者の提案内容について、それぞれの特徴、優れている点、劣っている点等について見解を述べ、意見交換を行った上で、各技術提案テーマの評価項目に従って評点を付す作業を行いました。集計の結果、全ての者を二次審査の対象とすることを満場一致で確認しました。

#### 一次審査結果（参加者番号順）

参加者番号	評点
19	63.9
28	56.7
59	59.3
86	66.1

二次審査のプレゼンテーション及びヒアリングは、プレゼンテーション15分、ヒアリング20分の割り当てで、4者に対して非公開にて行いました。

続いて行われた審査会では、まず審査委員が4者の提案内容とプレゼンテーション・ヒアリングにおけるそれぞれの特徴、優れている点、劣っている点等について見解を述べ、意見交換を行う中で、評価に関する観点の共有化を行いました。その上で、各審査委員が最優秀と考える提案についての見解を述べ合ったところ、満場一致で次に示す結論に至りました。

<講評>

**【最優秀：参加者番号86】**

提案内容は密度が高く、プレゼンテーションも明快であり、ヒアリングに対する応答も的確で審査委員からの評価と信頼を得た。

①塩尻市の風土や背景を踏まえ施設を様々な分野の合流点と位置付けたコンセプト、②サテライトオフィスとコワーキングのセキュリティを確保しつつ、交流スペースとの調和を図る計画案、③フレキシビリティやアメニティに関する工夫や運営まで視野に入れた提案、等が秀逸と判断され、全員の高い支持を得た。

ただし、施設の形状に対して斜め方向を基軸にした空間デザインを行っている点については、使い勝手が悪くなる可能性やデッドスペースが生じる可能性を排除できないと認められ、セキュリティレベルの考え方についても詳細検討の余地があると認められるので、審査委員会として早急に事務局と調整を図ることを要望する。

**【次点者：参加者番号19】**

ゾーニング・平面計画、要素機能間連携の考え方、イニシャルコスト縮減の提案等において、堅実でバランスの良い提案内容となっている。また、ヒアリングに対する応答も的確で審査員の評価と信頼を得た。

しかし、①デジタルに関する深い理解、②塩尻市の取組みを象徴するような先駆的な空間デザイン、③非常に短い履行期間における業務実施体制、等について、審査委員の疑義があり、強い支持を得るには至らなかった。

**【参加者番号28】**

塩尻市が展開する地域DX関連領域の施策に対して深い理解を有しており、“学びあい”を中心に据えたコンセプトは審査員の評価を得た。

しかし、①要素機能間におけるセキュリティレベルの考え方、②サテライトオフィス利用者へのプライバシーの配慮、③特徴的な交流スペース部分の有効性、等について、審査員の疑義があり、支持を得るには至らなかった。

【参加者番号 59】

コスト意識を高く持ち、セキュリティに配慮した堅実な提案となっている。

しかし、①施設全体のバランスの取り方、②サテライトオフィスゾーン内の空間デザイン、③コワーキングスペース及び交流スペースの実用性、等について、審査員の疑義があり、支持を得るには至らなかった。

令和4年4月14日

(仮称) 地域 DX センター整備事業設計者選定審査委員会  
委員長 不破 泰